

## 関係者各位

### 平成 30 年度環境地水技術セミナー開催案内

平成 30 年 9 月 28 日

一般社団法人環境地水技術研究会

〒105-0004 東京都港区新橋 3-1-14

連絡先：〒285-0858

千葉県佐倉市ユーカリが丘 1-2-10

TEL：043-375-2245

携帯：090-2416-2250（宮澤）

[E-mail:npo-asrct@ac.auone-net.jp](mailto:npo-asrct@ac.auone-net.jp)

<http://www.kankyo-chisui.com/>

平素は当研究会の活動にご指導ご支援を賜り誠にありがとうございます。

今年も豪雨、地震による大災害が各地を襲い、西日本や九州地方において多くの尊い人命が奪われました。被災された方々の一日も早い復興を祈念します。

世界の自然災害のうち一番多いのが洪水による被害と言われています。我が国も長い年月をかけて洪水被害を防ぐためのダム、河川、下水道などインフラ整備を進めてきました。

近年、国は「水循環基本法」「雨水利用促進法」を制定、施行しました。また内閣府に水循環政策本部を置き、国内30流域の「流域水循環計画」を認定しています。その計画の多くに「貯留浸透施設の整備・促進」を掲げています。今世紀は水と環境の世紀ともいわれていますが雨水対策も時代と共に変革、現代社会は従来の排水手法に加えて、流域の自然サイクルや生態系に極力配慮した環境調和型の洪水対策を求めている証と言えます。

当研究会は、「土壌への雨水浸透」をキーワードに、速やかに全て排水から緩やかに土中に還し貯留する、本来自然界で繰り返された正常な水循環に戻すことを目的に雨水浸透技術を研究、実践した施設の効果検証結果を基に環境地水技術の普及、啓蒙活動に努めている非営利団体です。

今年度も、活動の一環として各分野にてご活躍の先生方にご協力頂き、別紙要領の技術セミナーを計画、開催しますのでご案内申し上げます。

ご多忙と存じますがご検討の上、ご参加賜れば幸甚です。

※お問い合わせ、及びご参加を希望される方は当研究会の HP の Web、又は E メールにてお願い致します。（先着60名様にて締め切りとさせていただきます）

※ご参加を申し込みされた方には、メールにて受付番号を送信します。

※非営利活動団体メンバー様、印旛沼流域水循環健全化会議浸透 WG メンバー様、行政関係者様は参加費無料です。

当日、受付にて受付番号をご確認の上、資料をお受け取り下さい。

## 平成 30 年度環境地水技術セミナー

期日：平成 30 年 11 月 13 日（火曜日）

場所：千葉市中央コミュニティセンター

会場：5F 視聴覚室

住所：〒260-0026 千葉市中央区千葉港 2-1

電話：043-245-5724（代表）

受付：AM 9:20~9:50

開会挨拶

午前の部

1. 講演：9:55~10:40

演題：「手賀沼、印旛沼流域の湧水と生物の現状」について

講師：堀田和弘（元千葉敬愛短期大学学長・酒々井町「青樹堂」名誉塾長・当研究会相談役）

2. 講演：10:45~11:30

演題：「都市型水害と治水対策」について

講師：齋 強志（一般社団法人環境地水技術研究会理事）

3. 講演：11:35~12:20

演題：「人類・地球の可能性に見る“健全な水循環”回復への取り組み」について

講師：長谷川 泰彦（一般社団法人環境地水技術研究会理事）

昼食タイム 12:20~13:30

午後の部

4. 講演：13:30~14:15

演題：「雨水貯留浸透における環境地水学的諸問題」について

講師：宮崎 毅（東京大学名誉教授・日本学術会議連携会員・当研究会学術委員長）

5. 講演：14:20~15:05

演題：「市街地面源負荷削減対策としての雨水調整池の効果」について

講師：二瓶 泰雄（東京理科大学理工学部土木学科水理研究室教授）

休憩 15分

6. 講演 : 15:20~16:05

演題 : 「ディスクパーミアメータ (負圧浸入計) を用いた土壌の透水速度試験法」について

講師 : 西村 拓 (東京大学大学院環境地水学研究室代表教授)

7. 質疑応答 16:05~16:25

閉会 16:30

### 会場の案内図



### アクセス

千葉市中央コミュニティセンター 交通案内

※千葉都市モノレール「市役所前」駅下車。

改札を出て左側の建物の4階に受付がございます。(徒歩1分) 1階に〒郵便局。

※JR千葉駅・JR千葉みなと駅・京成千葉駅からは徒歩10~15分です。

※当センターが管理・運営する駐車場はございません。

公共交通機関をご利用ください。